

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

公益財団法人佐賀県産業振興機構

目 次

第1	令和7年度事業体系.....	1
第2	令和7年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善 に関する支援（公1）	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による 経営基盤の強化に関する支援（公2）	21
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図る ことによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）	36
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の 生活を安定させるための支援（他1）	38
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために 企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に 関する支援（公4）	39
6	農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 （公5）	44
7	その他県産品販売支援に関する支援（他2）	52
8	収益に関する事業（収1）	54
第3	庶務事項.....	55

第 1 令和 7 年度事業体系

●佐賀県産業イノベーションセンター

所在地：佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝 114 番地

●さが産業ミライ創造ベース

所在地：佐賀県佐賀市白山二丁目 1 番 12 号

【公益目的事業 1】

公1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援	1	経営革新・付加価値向上支援事業	人材・経営戦略課
		2	よろず支援拠点事業	人材・経営戦略課
		3	“磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業	農村ビジネス振興課
		4	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (新技術・新製品・知財開発補助事業)	技術振興課
		5	産学官共同研究コーディネート事業	技術振興課
		6	コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業	技術振興課
		7	成長型中小企業等研究開発支援事業	技術振興課
		8	単身事業者生産性向上支援事業	ものづくり振興課
		9	賃金 UP 支援事業	ものづくり振興課
		10	多様な人材確保環境整備事業	ものづくり振興課
		11	佐賀の焼物・陶土価格高騰緊急応援事業	ものづくり振興課
		12	さが産業ミライ創造事業	さが産業ミライ創造ベース

【公益目的事業 2】

公2	設備投資支援、取引先拡大支援、人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援	1	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (販路拡大補助事業)	ものづくり振興課
		2	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (生産性改善・高度化補助事業)	ものづくり振興課
		3	設備貸与事業	ものづくり振興課
		4	現場力向上・デジタル導入支援事業	ものづくり振興課
		5	中小企業等外国出願支援事業	知財支援課
		6	佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業	総務企画課

【公益目的事業 3】

公3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援	1	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業	中小企業勤労者福祉サービスセンター (人材・経営戦略課)
----	---	---	---------------------	---------------------------------

【その他事業 1】

他1	県内中小企業の事業主及び 当該企業に勤務する従業員 の在職中の生活を安定させ るための支援	1 共済給付事業	中小企業勤労者福祉 サービスセンター
----	--	----------	-----------------------

●九州シンクロトロン光研究センター

所在地：佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目 7 番地

【公益目的事業 4】

公4	地域産業の高度化・新産業の 創出、科学技術の振興を図る ために企業や大学等が行う シンクロトロン光（放射光） を利用した研究に関する支 援	1 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営 事業	九州シンクロトロン 光研究センター
----	--	--------------------------------	----------------------

●さが県産品流通デザイン公社

所在地：佐賀県佐賀市城内一丁目 1 番 59 号

【公益目的事業 5】

公5	農林水産物、加工食品等県産 品の販売強化や販路開拓に 関する支援	1 県産品情報発信力強化事業	国内販売支援 G I 国内販売支援 G II
		2 県産品情報発信拠点運営事業	国内販売支援 G I
		3 さが園芸 888 マッチング支援事業	国内販売支援 G I
		4 大都市圏販売力強化支援事業	国内販売支援 G II 首都圏販売支援 G
		5 物産振興支援事業	国内販売支援 G II
		6 県産品 PR・販売促進事業	国内販売支援 G II
		7 輸出開拓・促進事業	海外販売支援 G

【その他事業 2】

他2	その他県産品販売支援に関 する支援	1 協議会と連携した販売促進事業	海外販売支援 G
----	----------------------	------------------	----------

【収益事業 1】

収1	収益に関する事業	1 ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業	国内販売支援 G II
----	----------	--------------------------	-------------

第2 令和7年度事業報告

1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行う。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 経営革新・付加価値向上支援事業
- 2 よろず支援拠点事業
- 3 “磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業
- 4 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（新技術・新製品・知財開発補助事業）
- 5 産学官共同研究コーディネート事業
- 6 コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業
- 7 成長型中小企業等研究開発支援事業
- 8 単身事業者生産性向上支援事業
- 9 賃金UP支援事業
- 10 多様な人材確保環境整備事業
- 11 佐賀の焼物・陶土価格高騰緊急応援事業
- 12 さが産業ミライ創造事業

【公1個別事業の内容】

（1）経営革新・付加価値向上支援事業 [1,694千円：佐賀県補助金]

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

新分野への進出や新規事業へのチャレンジ、下請取引からの脱却、自社の独自製品の開発等への転換を志向する企業を対象に、デザイナー等クリエイターとのマッチングや企業経営者の交流の場づくり等の支援を行うことで企業の経営改善や新事業展開を促す。

【実績】

① クリエイター育成・利活用推進事業

新製品開発やブランディングにクリエイターを活用することにより、企業の

付加価値向上や県内のクリエイター育成、クリエイティブ産業の振興を図るため、セミナー開催による啓発及びクリエイターと事業者のマッチング、相談支援を実施した。

- ア. クリエイター活用セミナー&お試し個別相談会 (PopUp! RYO-FU BASE)
- 第1回 令和7年8月4日開催 セミナー参加者 16 名、個別相談 5 社
 〈セミナー〉 光画デザイン古賀義孝氏と (株) ブラザーズワン社長
 松本哲氏によるクロストーク
- 第2回 令和7年8月7日開催 セミナー参加者 25 名、個別相談 5 社
 〈セミナー〉 GateLightDesin 関光卓氏と (株) 太平プレテック 常務
 野口慎平氏によるクロストーク

イ. クリエイターマッチング&相談支援

令和7年8月～令和8年2月まで募集、計13件の面談を設定・支援を行い、うち3件が年度内に成約した。

支援内容については、クリエイターに対して原則初回相談料の補助を行った。

相談内容	件数
ブランディング (靴製造、製茶、菓子製造等)	5 件
新商品開発 (食品製造等)	3 件
広報戦略 (ガス、木工等)	3 件
商品デザイン (生活雑貨、教材)	2 件
合 計	13 件

ウ. クリエイター活用セミナー&交流会 (マリターレ創世)

令和8年3月25日開催 参加者約40名

クリエイターと事業者との協業事例3組によるクロストーク及び10名のクリエイターとの交流会を開催、あわせて今後の事業者掘り起しに向け次年度事業の紹介を行った。

〈セミナー〉 (株) ONE SWORD 代表 安部謙太郎氏をファシリテーターに迎え、優れた協業事例を持つ以下3組のクリエイターと事業者とのクロストークを行った。

- ・GateLightDesin 関光卓氏と (株) 太平プレテック 社長野口慎平氏
- ・黒髪企画室 (株) 鷹巣翼氏と (株) サガビネガー 常務右近諭志氏
- ・ユキヒラ・デザイン 長尾行平氏と旅館大村屋 社長北川健太氏

② ベンチャー交流ネットワーク事業

平成13年度に設立されたベンチャー交流ネットワークは、令和5年度で県の補助事業が終了し、令和6年度から役員企業により会費収入のみで企画・運

営を行っている。令和7年度末の会員数は正会員56社、サポート会員19社となっており、弊財団は事務局業務を受託している。

例会等については下記のとおり開催された。

- ・総会 令和7年5月16日 佐賀市（佐賀商工ビル）
- ・よろず支援拠点コーディネータによる勉強会
令和7年6月20日（第1回）、令和7年8月8日（第2回）、
令和7年10月10日（第3回）、令和7年12月5日（第4回）
内容：実践型売上アップ勉強会
- ・第1回例会 令和7年1月20日 佐賀市（佐賀県庁・SAGACHIKA）
内容：県職員との交流・意見交換会
- ・第2回例会 令和8年3月18日 佐賀市（JONAI SQUARE）
内容：「稲とアガベ（株）」代表 岡住氏による講演・交流会

◇主な経費の内訳：謝金、費用弁償、会場使用料等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	お試しマッチング件数	30 件	13 件
成果指標	クリエイターとの連携により2年後に 10 件の付加価値向上・課題解決	—	調査中

【評価】

現状において県内事業者によるクリエイティブ活用は進んでおらず、また県内で活動するクリエイターの認知度も高くない状況であることから、事業初年度である今年度はお試しマッチングとして相談支援を行うとともに、セミナーや交流会の開催によるクリエイティブ活用の啓発に注力した。その結果県内クリエイターの認知度は向上しており、次年度の支援事業につながる案件が生まれている。

（2）よろず支援拠点事業 [108,845 千円：国受託料]

《担当部署：人材・経営戦略課》

【目的】

中小企業や小規模事業者が抱える様々な経営課題に対する専門的な助言を行うため、「よろず支援拠点」を平成26年6月に当センター内に設置し、事業計画や販路拡大、商品開発、IT利活用など幅広い分野の相談に対応している。

「売上拡大」を第一の目標として、様々な経営課題の相談に対してビジネスパートナーとしてワンストップで支援を行う。

【実績】

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を佐賀県産業イノベーションセンターに設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、デザイナーなど幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

① 相談内容及び業種

チーフコーディネータ1名、サブチーフコーディネータ1名、コーディネータ約40名を配置し、延べ17,940件の相談に対応した。

○相談内容

IT活用（情報発信）	4,300件
経営知識	2,300件
広報戦略	2,297件
広告デザイン	1,521件
IT活用（内部管理）	1,484件
事業計画策定	1,383件
販路提案	1,290件
施策活用	623件
その他	2,742件
合 計	17,940件

※相談者1名につき複数分野の相談があった際にはそれぞれ1回としてカウント

○相談者業種

1次産業	農林漁業	5.0%
2次産業	製造業	12.4%
	建設業	7.3%
3次産業	サービス業	27.1%
	卸売業・小売業	13.9%
	医療・福祉	5.8%
	宿泊業・飲食サービス業	8.7%
	その他	19.8%

② セミナー開催

経営課題の解決やセミナー受講者を相談事業に誘引することを目的にコーディネータが講師となり、当拠点主催のセミナーや、支援機関や自治体と連携したセミナーを計 126 回開催した。

【セミナーの内容例】

- ・ WEB マーケティング
- ・ AI 活用セミナー
- ・ 財務諸表の活用方法
- ・ 人手不足対策 等
- ・ Canva 活用セミナー
- ・ ChatGPT 活用方法
- ・ ブランドの構築方法

③ サテライト相談窓口設置

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内 11 カ所（唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、有田町、みやき町、佐賀信用金庫、佐賀県信用保証協会）設置し、約 3,800 件（全体の約 21%）の相談対応を実施した。

④ 他機関との連携による支援

事業承継引継ぎ支援センター及び中小企業活性化協議会との連携を中心として、各地の商工団体や自治体を交えた支援制度説明会や創業塾、金融機関も巻き込んだ合同経営相談会や合同創業相談会などを開催した。

また当財団内においても各部署や拠点と連携したセミナーや勉強会を開催した。

◇主な経費の内訳：コーディネータ謝金、旅費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	来訪相談者数及びオンラインでの相談件数	1,000 件／月 (年間 12,000 件)	約 1,495 件／月 (年間 17,940 件)

【評価】

多数の経営上の様々な課題を抱える個人事業主や中小企業に対してワンストップかつ無料で相談対応を行い、早期の課題解決に貢献することが出来た。

今年度は SNS を使った広報に注力したことにより、web 経由での新規相談者が大きく増加した。支援内容についても、5 つの専門チーム（DX、HR、中長期経営計画、ブランディング、海外）を組成しセミナーを開催するなど、より踏み込んだ事業者支援を行った。

相談者への満足度調査において 97.3%が「大変満足」、「満足」との回答を得ており、全国本部からも高い評価を受けている。

(3) “磨き輝く”さが農村イノベーション推進事業 [23,145 千円／佐賀県受託料]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

【目的】

県内の豊富な農林水産物等の付加価値づくりや農山漁村にある資源・魅力を活かしたビジネスを農村ビジネスとして推進している。

当センター内に「さが農村ビジネスサポートセンター」を設置し、事業計画の策定をはじめ、商品の加工技術や販売戦略、コンテンツのブランディングなど、農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の経営改善の取組を支援することにより、トップランナーの創出や農村ビジネスの裾野の拡大を図る。

【実績】

ア 農村ビジネスに関する個別相談、支援

コーディネータ 3 名を配置し、延べ 240 件の相談対応を行うとともに、相談内容に応じて、72 件のプランナー（専門家）派遣を行った。

（相談内容）

加工製造	88 件	37%
デザイン・ブランディング	14 件	6%
販売戦略	32 件	13%
事業計画	17 件	7%
レストラン・カフェ	43 件	18%
その他（品質管理等）	46 件	19%
合計	240 件	100%

（業種別）

農林漁業者	111 件	46%
農業法人	102 件	42%
行 政	16 件	7%
そ の 他	11 件	5%
合 計	240 件	100%

イ 研修会・交流会の開催

- ① 人材育成セミナー「売り上げにつなげよう自分の商品の魅力の伝え方セミナー」

専門家より自らの商品の売り込みについて学び、BtoBはバイヤーに、BtoCはWEB 専門家から事例を交えて話を聞きビジネスにつなげた。
(7月15日 グランデはがくれ 38名参加)

② 実践研修会「農業女子交流会」

農村ビジネス実践事例の視察を行うとともに、女性実践者同士の交流を図り、相互の連携を深めた。(8月28日 唐津市高島 15名参加)

③ 実践研修「利益UPは理由がある原価と売価の基本セミナー」

資材高騰が続く中、原価を知り適切な売価で販売することで経営の安定につなげる。(9月12日 イノベーションセンター 21名参加)

④ 実践研修「AIでラクする情報発信術セミナー」

SNSで情報発信をするときにAIを活用し、視聴者に刺さる情報発信を行う知識を養った。(1月13日 イノベーションセンター 15名参加)

⑤ 実践研修「スマホでパッと映える！初心者さんの写真ステップアップセミナー」

SNSや商品提案に活用できる写真を手軽な携帯を活用し、魅せる写真を撮る手法を学んだ。(1月27日 農大 14名参加)

⑥ 異業種交流会「専門家とつながる交流会」

佐賀県産業イノベーションセンター、さが農村ビジネスサポートセンターに登録している専門家による専門分野や支援可能な相談内容、実際の活動事例の紹介及び名刺交換会、フリートークを行い事業の安定・拡大につなげた。(11月5日 グランデはがくれ 30名参加)

◇主な経費の内訳：専門家派遣費、研修会開催費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	研修会、交流会の開催回数	6回	6回
成果指標	農村ビジネスの新たな取組みの増加	15件	15件

【評価】

農林漁業者等を対象に、コーディネータによる個別相談や他支援機関と連携した研修会や交流会を開催することで、新たに農村ビジネスに取り組む農林漁業者等の掘り起こしができた。

また、新商品開発や販売戦略等の支援を行うことにより、農村ビジネスの新たな取り組みが 15 件成立するなど農林漁業者等の所得向上と農山漁村地域の活性化に繋がった。

(4) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業

① 新技術・新製品開発補助事業 [28,652 千円：県補助金]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行う D X、G X の実現に向けた新技術・新製品の開発や基盤技術の高度化への挑戦を中心とした研究開発に要する経費を補助する。

【実績】

企業名	概要	補助金額 (千円)
株式会社サンビット	小型球体にテープを均一に重ね貼る装置の技術開発【DX】	3,197
株式会社フジックス	酸素ナノバブル援用型海況改善技術の開発【GX】	2,232
株式会社中村電機製作所	耐圧防爆構造における樹脂製防爆製品の要素技術の獲得【DX】	3,165
聖徳ゼロテック株式会社	患者の身体的・精神的健康（Q O L）を向上させるマルチチェッカーの開発【DX】	1,000
株式会社ワイビーエム	地盤調査の生産性向上のための D X による I C T ボーリングマシンの開発【DX】	9,173
株式会社西村鐵工所	高効率連続式冷却固化装置“C D フレーカー”の開発【GX】	9,885
合計		28,652

◇主な経費の内訳：補助金 28,652 千円

【指標】

活動指標：支援 3 件以上

実績 6 件

成果指標：支援案件の 50 % 以上が技術課題を解決又は 5 年以内に製品化

実績 43 件支援し、事業化等 26 件（60.5 %）

【評価】

各企業がそれぞれの研究開発の目的を達成し、デジタル化・グリーン化に向けた技術の高度化や新製品開発を進めた。なお、支援した案件については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援していく。

② 知財活用支援事業**ア 特許等出願支援事業費補助金 [518 千円：県補助金]**

《担当部署：技術振興課》

【目的】

ものづくり産業に携わる県内中小企業者等が発明または考案した新技術を保護し事業拡大に活用するために行う特許権または実用新案権の取得に向けた取り組みに係る経費の一部を助成する。

【実績】

県内中小企業者等の日本国特許庁への特許出願に対して支援を行った。

○支援件数 3 企業 3 件（特許 3 件、実用新案 0 件）

企 業 名	種別	出願件数	補助金額 (千円)
株式会社グリーンテクノ 21	特許	1 件	262
島内啓次海苔店	特許	1 件	256
株式会社中村製材所	特許	1 件	(中止)
合計			518

◇主な経費の内訳：補助金 518 千円

【指標】

活動指標：補助金採択件数 目標：5 件 実績：3 件

成果指標：県内中小企業等の日本国特許庁への特許出願：2 件

【評価】

目標 5 件に対して 3 件の交付申請があり、審査委員による厳正なる書面審査の結果 3 件を採択して日本国特許庁への特許出願を支援し、県内中小企業者等が発明した新技術の保護と新技術を活用した事業展開、企業経営力の強化に寄与することができた。なお、うち一社は当年度での特許出願を見送ることとなったため、補助事業を中止した。

イ 知財開発事業費補助金 [0 円 : 県補助金]

《担当部署 : 技術振興課》

【目的】

ものづくり産業に携わる県内中小企業者等が行う、他者が有する開放特許等の知的財産を活用した新製品開発や生産能力向上に向けた技術開発に係る経費の一部を助成する。

【実績】

企 業 名	案件	補助金額 (千円)
(該当なし)	0 件	0
合計		0

【指標】

○活動指標 : 補助金採択件数 目標 : 2 件 実績 : 0 件

○成果指標 : 県内中小企業等の製品開発、製造支援 : 0 件

【評価】

目標 2 件に対して 1 件の交付申請があったが、審査委員による厳正なる審議の結果不採択とした。申請数が低迷した原因として、類似の補助金と比較して補助上限額が 150 万円と低いという事業者からの声もあり、令和 8 年度からは制度を見直し、新技術・新製品開発等補助金（上限 1,000 万円）へ一本化することで、支援体制の拡充を図る。

(5) 産学官共同研究コーディネート事業 [28,232 千円 : 佐賀県補助金]

《担当部署 : 技術振興課》

【目的】

県内企業のニーズと大学等の研究シーズのマッチングを図るコーディネート機能を整備し、産学官の共同研究等により、新技術の開発及び新産業の創出を目指す。

【実績】**① 産学官連携コーディネータの設置**

新技術・新製品開発等を目指す県内中小企業からの相談を受け、国等の競争的資金への提案やプロジェクト推進等に関するアドバイスやコーディネートを行った。

ア プロジェクト相談・推進等 延べ277件

【内容】・技術相談	19件
・プロジェクト・補助金相談	46件
・プロジェクト推進	58件
・シーズ及びニーズ調査	13件
・その他	141件

イ 研究プロジェクトの企画提案支援 8件

・さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 新技術・新製品開発補助事業費補助金	8件
---	----

ウ 表彰制度への推薦等 2件

・第11回世界に飛びたて佐賀ものづくりびと表彰への推薦	1件
・第12回佐賀さいこう企業への推薦	1件

② 知財ビジネスマッチング支援事業

大手企業等が保有する開放特許を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、大企業の開放特許の紹介を行う知財ビジネスマッチングセミナーを開催した。より幅広い事業者へのアプローチを目的として、佐賀県政策部及び日本弁理士会九州会と共催で実施した。

○日時：令和8年1月27日

○場所：ホテルグランデはがくれ

○参加人数：63人

○内容：開放特許の活用方法と知財経営について

(知財ワークショップ、県内企業による知財活用事例のトークセッション)

③ 知的財産普及・啓発事業

知財に馴染みの薄い就職予定者及び学生への認知向上のための出前講座を開催した。

○日時：令和7年6月12日

○場所：佐賀県高等水産講習所

○対象：ノリ養殖コース・増養殖コース・資源管理型コース15名

○内容：著作権をはじめ様々な知的財産の課題や解決の考え方等について
弁理士から解説

○日時：令和7年12月16日

○場所：佐賀県立佐賀工業高等学校

○対象：建築科2年生 40名

○内容：著作権をはじめ建築業務にまつわる様々な知的財産の課題や解決の
考え方等について弁理士から解説

- 日時：令和8年2月6日
- 場所：佐賀県立産業技術学院
- 対象：建築技術設計科、木工芸デザイン科の学院生＋職員 40人
- 内容：著作権をはじめ建築業務にまつわる様々な知的財産の課題や解決の考え方等について弁理士から解説

◇主な経費の内訳：謝金、会場借料

【指標】

活動指標：知財関連のセミナー開催1回 実績4回
成果指標：国や県の補助事業を活用して支援した案件の50%以上が技術課題を解決又は5年以内に製品化
実績 過去5年間で、
・サポイン・Go-Tech（国事業）4件で事業化等2件（50%）
・きらめく補助（県事業）43件で事業化等26件（60.5%）

【評価】

産学官連携コーディネータを中心に、県内ものづくり企業からの相談対応、共同研究機関のマッチング、補助金申請支援や各種表彰制度への推薦等を行い、企業の技術の高度化や新製品開発に向けた取組を支援できた。支援した企業の取組については、今後のさらなる研究開発や事業化に向け、引き続き支援する。

（6）コスメ技術開発・人材育成拠点整備事業 [63,557千円：佐賀県委託金]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

化粧品に関する新たな技術開発を支援するとともに、美容・健康業界で活躍できる人材を育成する環境を整備し、県内へのコスメティック産業の集積を推進させる。

【実績】

① 次世代化粧品に関する技術開発

化粧品先端技術の研究で実績のある専門家を配置し、佐賀大学の化粧品科学研究講座において県内企業等の技術開発や研究を支援した。

- ・県内企業等との共同研究（目標：6件以上）

実績：12件 ・佐賀県産素材の化粧品原料としての可能性検証：5件
・佐賀県内の事業者との技術開発を目的とした研究：2件
・コスメティック構想推進に寄与する研究：5件

② コスメ専門人材の育成環境の整備

コスメ産業に対する高校生の興味関心を高めることを目的にセミナーを開催した。

- ・県内高校生向けセミナー（目標：2回）

「化粧品会社ではたらく人たちに聞く ～コスメ業界へのキャリアガイド～」

（R7年8月7日） 参加人数：111人

（株）マンドム、（株）ACRO、岩瀬コスファ（株）の方にも講演いただいた。

- ・「～企業が集うコスメのまち～「コスメティック構想」について」

（R7年12月12日） 参加人数：337人

佐賀県立唐津南高等学校にて「さがを誇りに思う教育推進事業」の一環として出前セミナー形式で実施した。

◇主な経費の内訳：備品購入費 20,647 千円、人件費 19,480 千円

【指標】

活動指標：共同研究講座において県内企業等との共同研究6件以上

実績12件

コスメ関連セミナーの開催2回 実績2回

成果指標：共同研究の50%以上が技術課題を解決

実績0件

【評価】

化粧品先端技術の研究で実績のある専門家を中心に、県内企業等と技術開発について共同研究が順調に進捗しており、県内企業等の技術力が向上した。今後の事業化を目指し、引き続き支援していく。

（7）成長型中小企業等研究開発支援事業 [63,233 千円：国補助金]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行う精密加工、立体造形、表面処理等の基盤技術の高度化に資する研究開発から事業化までの取組を支援し、企業の競争力強化と新事業創出を推進する。

【実績】

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企

業等からの申請、共同研究体の構築等を支援。採択後は、進捗管理や補助金事務を行いながら、研究開発の一貫支援を行った。

① 中山ホールディングス株式会社（武雄市） 【令和6年度～8年度】

「過酷環境で自律運転とリモートアクセスが可能なマイクロ建機の研究開発によるGXの推進」

・研究実施機関：(株)中山ホールディングス、佐賀大学、(株)リチューナルエナジー

・補助金申請額：9,750万円（R6～8年度合計）

※主な経費の内訳：

令和6年度 補助金 41,223 千円

令和7年度 補助金 29,189 千円

② 森鉄工株式会社（鹿島市） 【令和6年度～8年度】

「ファインブラッキングプレスにおける油圧制御技術の革新的高機能化によるカーボンニュートラルへの貢献」

・研究実施機関：森鉄工(株)、佐賀大学、佐賀県工業技術センター

・補助金申請額：9,750万円（R6～8年度合計）

※主な経費の内訳：

令和6年度 補助金 41,321 千円

令和7年度 補助金 32,116 千円

【指標】

活動指標：国への申請1件以上 実績2件

成果指標：採択案件の50%以上が技術課題を解決又は5年以内に製品化
補助事業完了4案件のうち2件事業化等（50%）

【評価】

当該事業に取り組むため産学官の共同研究体を構築し、当財団が事業管理機関となって支援した結果、支援企業においてそれぞれの研究開発が計画どおり推進できた。今後の事業化を目指し、引き続き支援していく。

（8）単身事業者生産性向上支援事業 [33,995 千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

物価高騰等により、収益が悪化している従業員がいない事業者の収益力強化を図る。

【実績】

「第４弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金、「第５弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金として、生産性向上や高付加価値化に資する取り組み 70 件を採択したが、補助事業期間中の辞退や廃止により、最終的に補助した事業者は 64 件、補助金額は 30,641 千円となった。

	「第４弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	「第５弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	計
申請件数	68 件	31 件	99 件
採択件数	47 件	23 件	70 件
最終補助事業者	43 件	21 件	64 件
補助金額	19,633 千円	11,008 千円	30,641 千円

◇主な経費の内訳：補助金、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	補助金採択件数	62 件	70 件
成果指標	採択事業者が補助金を活用して生産性向上、高付加価値化に取り組み、収益力の強化・改善を達成		

【評価】

物価高騰等による影響など厳しい経営環境にあっても、前向きにチャレンジしようとする事業者への後押しとなり、売上の向上や収益力の強化に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない従業員のいない小規模事業者も事業に取り組むことができた。

（９）賃金 UP 支援事業 [521,185 千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境の中、県内事業者の生産性向上や高付加価値化に資する取組みを支援することにより、収益力の強

化・改善を後押しする。また、それにより生み出された収益を労働者の賃金に還元することで、優秀な人材の確保・育成にも繋げ、県内事業者の経営基盤の強化を目指す。

【実績】

＜賃金 UP 支援枠＞

「第4弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金、「第5弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金として、県内事業者が生産性向上や高付加価値化に資する取り組み 337 件を採択したが、補助事業期間中の辞退や廃止等により、最終的に補助した事業者は 329 件、補助金額は 426,491 千円となった。

	「第4弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	「第5弾」佐賀県中小企業生産性向上支援補助金	計
申請件数	324 件	222 件	546 件
採択件数	134 件	203 件	337 件
最終補助事業者	129 件	200 件	329 件
補助金額	198,982 千円	227,509 千円	426,491 千円

◇主な経費の内訳：補助金、人件費

＜国助成金上乗せ枠＞

令和7年4月1日以降に佐賀労働局に「業務改善助成金」の交付申請を行い、確定通知を受けている事業者に対し、佐賀県業務改善サポート補助金として、国助成金の助成残を補助した。補助した事業者は 62 件、補助金額は 23,908 千円となった。

◇主な経費の内訳：補助金

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	＜賃金 UP 支援枠＞ 補助金採択件数	336 件	337 件
	＜国助成金上乗せ枠＞ 補助金採択件数	200 社	62 社
成果指標	採択事業者が補助金を活用して生産性向上、高付加価値化に取り組むことで、労働者の賃金引上げが実現		

【評価】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境にあっても、生産性向上や高付加価値化にチャレンジしようとする事業者への後押しとなり、収益力の強化・改善、それに基づく賃金の引上げ促進に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない比較的規模の小さい中小企業者等も事業に取り組むことができた。

(10) 多様な人材確保環境整備事業 [134, 277 千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

原油・原材料・エネルギー等の価格高騰により、企業の経営状況が悪化する中、企業における人材不足も深刻となっており、事業継続に影響が生じている。このことから、多様な人材（女性、外国人、シニア等）が安心して活躍できるような職場環境の改善を支援することにより、中小企業の人材確保を図る。

【実績】

「第2弾」佐賀県多様な人材確保環境整備補助金、「第3弾」佐賀県多様な人材確保環境整備補助金として、男女別トイレの新設や洋式化改修、空調の更新、休憩室の整備、寮の整備等の取組に対して92件を採択したが、補助事業期間中の辞退により、最終的に補助した事業者は89件、補助金額は127,634千円となった。

	「第2弾」佐賀県多様な 人材確保環境整備補助金	「第3弾」佐賀県多様な 人材確保環境整備補助金	計
申請件数	153 件	122 件	275 件
採択件数	49 件	43 件	92 件
最終補助事業者	48 件	41 件	89 件
補助金額	70,079 千円	57,555 千円	127,634 千円

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	補助金採択件数	74 件	92 件
成果指標	多様な人材確保に意欲的な県内中小企業の職場環境改善を図り、雇用の創出につなげる。		

【評価】

外国人技能実習生のための社員寮の整備、高齢従業員や女性従業員確保のための洋式トイレへの改修や男女別トイレの設置、その他従業員用休憩室や更衣室の整備など、従業員向けの環境整備や福利厚生面を充実させる取り組みに対して支援したことにより、多様な人材の定着及び雇用の促進に寄与することができた。

(11) 佐賀の焼物・陶土価格高騰緊急応援事業

[39,978 千円：佐賀県補助金(9 月補正予算)]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

伊万里・有田焼の原材料の価格高騰の影響を強く受け、収支状況が悪化している伝統産業関連事業者が実施する生産性向上等の取組支援や陶土価格高騰分への補助を行うことで、適正な価格転嫁を行いながら、早急な生産性向上を行い、継続した成長につなげる。

【実績】

県内窯業関連事業者が生産性向上等に資する取り組み 43 件を採択し、最終的に補助した事業者は 43 件、補助金額は 38,579 千円となった。

(取組例)

窯修繕による生産性向上、動画、ショップカード制作による販路拡大、陶磁器製造用の陶土購入（※陶土価格高騰緩和支援）

申請件数	43 件
採択件数	43 件
最終補助事業者	43 件
補助金額	38,579 千円

◇主な経費の内訳：補助金、人件費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	現 状
活動指標	補助金採択件数	33 件	43 件

【評価】

原材料・エネルギー価格高騰や人材不足等厳しい経営環境にあっても、生産性向上等にチャレンジしようとする窯業関連事業者に対し、陶土価格高騰への激変緩和措置を講じるとともに、生産性向上などの取組の加速化を後押しができた、収益力の強化・改善、それに基づく賃金の引上げ促進に寄与することができた。

また、商工会や商工会議所をはじめとする認定支援機関にも協力を要請したことにより、これまで補助事業を活用したことがない比較的規模の小さい中小企業者等も事業に取り組むことができた。

(12) さが産業ミライ創造事業 [323,553 千円／佐賀県補助金]

《担当部署：さが産業ミライ創造ベース》

【目的】

DXの推進やスタートアップの発掘・育成を通じ、テクノロジーとビジネスの未来をデザインします。これにより個々の企業や人材に焦点を当てた丁寧な支援を行い、多様性を重視したオープンイノベーションを促進しながら、地域の持続可能な成長を支える新しい価値を創出します。

【実績】

① スタートアップの聖地 SAGA 推進事業【RYO-FU BASE】

(i) Startup Concierge

RYO-FU BASE にスタートアップコンシェルジュ 4 名を設置し、起業経験者や IT コーディネーター等、それぞれの専門的知見を活かしてスタートアップを支援しました。

具体的には、県内スタートアップ等の掘り起こし、県内外スタートアップ等とのネットワーク構築、県内企業・起業家等の販路拡大・資金調達支援、過去に RYO-FU BASE が支援を行った企業・起業家等へのフォローアップ支援などです。

また、女性起業家向けの交流イベント「mini J300 in 佐賀」の開催や、佐賀県よろず支援拠点との共催イベントの実施などを通じて、スタートアップ事業者発掘等を行いました。

【mini J300 in 佐賀 2025（女性起業家のビジネス交流会）】

- 開催日時 2025 年 9 月 9 日（火） 10 時～13 時
- 開催場所 ホテルマリターレ創生 佐賀
- 参加者数 50 名
- 実施内容
 - ①トークセッション
 - ②PR シート作成ワーク
 - ③交流会・展示
 - ④記念撮影

(ii) Startup Ecosystem SAGA

県内で活動する起業家及び起業志望者の掘り起こしを行うため、起業に関心のあ
る個人、地場企業、既存のコミュニティを対象としたセミナーやイベントを県内各
地で開催しました。

また、掘り起こす起業家及び起業志望者等を主な対象とし、起業家等の育成と実
現可能性の高い事業計画の立案・策定を支援するとともに、過去のプログラム採択
者や関係者も対象に壁打ち等を通じてビジネスプランのブラッシュアップなどを
行いました。

さらには起業家や起業志望者等がビジネスモデルの深化や事業会社等の協業・連
携を促進するためのコミュニティを創出し、交流イベントを行いました。

将来有望な起業家の事業プラン実現のための発表の機会として、ビジネスコンテ
ストを県内4か所で開催し、新しいことに挑戦できる機運を高め、起業・新規事業
を始めやすい土壌を作るきっかけ作りを行いました。

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2025 年 5 月 27 日	ゼロスタ KICKOFF イベント	50 名
2025 年 6 月 11 日	ビジネススクール@唐津①	17 名
2025 年 6 月 18 日	ビジネススクール@唐津②	19 名
2025 年 6 月 25 日	ビジネススクール@唐津③	23 名
2025 年 7 月 5 日	SAGA MIXAED NUTS BAR① ※特別セミナー@鹿島合同開 催	32 名
2025 年 7 月 5 日	特別セミナー@鹿島	22 名
2025 年 7 月 24 日	特別セミナー@嬉野	25 名
2025 年 8 月 7 日	特別セミナー@伊万里	17 名
2025 年 9 月 13 日	特別セミナー@多久	14 名
2025 年 10 月 4 日	特別セミナー@富士	12 名
2025 年 10 月 8 日	ビジネススクール@佐賀①	16 名
2025 年 10 月 14 日	特別セミナー@小城	19 名
2025 年 10 月 15 日	ビジネススクール@佐賀②	14 名
2025 年 10 月 22 日	ビジネススクール@佐賀③	12 名
2025 年 10 月 24 日	SAGA MIXAED NUTS BAR② ※terakoya 起業講座同時開催	13 名
2025 年 11 月 19 日	壁打ち会①	17 名
2025 年 12 月 5 日	ビジネススクール@鳥栖①	16 名

2025 年 12 月 12 日	ビジネススクール@鳥栖②	13 名
2025 年 12 月 19 日	ビジネススクール@鳥栖③	13 名
2026 年 1 月 26 日	特別セミナー@神埼	50 名
2026 年 2 月 13 日	壁打ち会②	9 名

【開催したビジネスコンテスト】

開催日	場所	本エントリー数	書類通過数	受賞数
2025 年 7 月 9 日	唐津	23 社（者）	8 社（者）	4 社（者）
2025 年 8 月 23 日	鹿島	6 社（者）	6 社（者）	4 社（者）
2025 年 11 月 14 日	佐賀	17 社（者）	9 社（者）	4 社（者）
2026 年 1 月 16 日	鳥栖	24 社（者）	8 社（者）	4 社（者）

（iii）Startup Launch 事業化補助金

革新的な技術やビジネスで今までになかった新たな市場を創出し、短期間で飛躍的な成長を遂げる可能性がある県内の有望スタートアップ2社に対し、事業化にむけた第一歩となる、プロトタイプ開発や実証事業の実施などを支援し、ベンチャーキャピタルなどからの資金調達が可能な事業への成長を後押しするため、補助金を交付しました。

【補助金交付したスタートアップ】

補助対象者	事業計画名	事業概要	補助金額
一般社団法人 InnoDrops	～未来のChange Makerと つくる地域共創エコシス テム～ STEAMDAYS!!	・STEAMDAYS!! : STEAMに特化したアジャイル型のアントレプレナーシッププログラム ・伴走者育成プログラム : STEAMDAYS!!の伴走の場を通じた人材育成プログラム ・今後のSTEAMDAYS!!地域展開と地域を超えたナレッジ循環プラットフォーム ・SANDlab構想: 挑戦プロセスの価値化と事業化支援	5,000 千円

株式会社 JICU	非金銭型価値交換プラットフォーム実証事業	・「スキルと食（物）を交換する」という非金銭型のマッチングモデルの実証 ・実証で得られた知見をもとにコンセプトをアップデート ・プロダクト開発やプロダクト開発やコミュニティ機能の構築、本格的なマネタイズ検証、ルール整備・UI 改善	5,000 千円
-----------	----------------------	---	----------

(iv) SAGA INNOVATORS BASE

デジタル技術の活用にチャレンジする県内企業や県内の起業家及び起業志望者のさらなるビジネスの拡大と、他企業等の新たなチャレンジを呼び起こすため、DX とスタートアップの双方のセグメントを融合させたイベント「SAGA MIRAI FES」を開催しました。

また、RYO-FU BASE が過去に支援した企業等 16 社を対象に、イベント実施、メディア掲載、マーケティング企画立案等の協業支援を行いました。

【SAGA MIRAI FES】

- 開催日時 2026 年 3 月 5 日（木） 16 時～19 時 50 分
- 開催場所 CIC Fukuoka（福岡市中央区天神 ONE FUKUOKA BLDG 6F スカイビースクエア）
- 参加者数 500 名（内訳）現地参加者 228 名、オンライン参加者 272 名
- 実施内容
 - ①MIRAI SHOWCASE Startup 編（ピッチ） 6 社
 - ②MIRAI SHOWCASE DX 編（ピッチ） 4 社
 - ③MIRAI SPEECH（基調講演）
 - 経営戦略センター株式会社 代表取締役社長 伊藤 雅仁氏
 - テーマ 「佐賀からはじめるイノベーションのリアル」
 - ④MIRAI MEETUP（交流パート）

【協業支援した企業】

企業名	支援概要
ボンジュール株式会社	製品プロモーション支援
Dessun 株式会社	新規事業の営業支援
合同会社土壌診断用バイオセンサー研究会	サービス向け説明資料・パンフ制作支援
株式会社メタルジャケット	大学生向け研修の企画・運営支援
有限会社お茶の嬉野園	新規施策のプロモーション支援
有限会社金照堂	新規施策のプロモーション支援

自園自製直売 鶴製茶	新規施策のプロモーション支援
有限会社菓心まるいち	新規施策のプロモーション支援
株式会社ソロン	ブランディングワーク・クリエイティブ支援
株式会社 Retcos	新規施策のプロモーション支援
フレル株式会社	プロダクト拡販に係るプロモーション支援
森鉄工株式会社	DX 推進に係る実行支援
株式会社カスタネット	新規事業の営業支援
Yol Guesthouse&Cafe	サイト制作支援
株式会社すみなす	イベントの運営・プロモーション支援
有限会社旅館あけぼの	新規施策のプロモーション支援

②ビジネス確立支援事業【RYO-FU BASE】

(i) Startup Connect+ SAGA

協業や実証実験、販路開拓の機会を創出するため、採択したスタートアップ5社に対し、国内外のビジネスパートナーとのマッチングを支援し、7件が成立しました。

【支援したスタートアップ】

企業名	事業概要	実施件数（成立件数）
しやしゅしょ株式会社	生徒と先生を結ぶオンライン書道プラットフォームの運営。	10 件（1 件）
株式会社 TrueCamera	Web 上で撮影時の位置情報を画像に紐づける技術でフェイク画像対策を目指す。	8 件（1 件）
ジャズジンジャー	ジャズシンガーが佐賀や地域の特産品を使って開発したジンジャーシロップの製造・販売。	7 件（2 件）
ヤマコネ株式会社	山林が最大限生かされ、活用される社会実現のために林業 DX や山林のマッチングプラットフォーム作成を検討。	7 件（1 件）
株式会社ウェルネスエキスパート	高齢者施設向け美容サービス、美容・ウェルネス事業の海外展開支援を実施。	7 件（2 件）

(ii) Startup Promote+ SAGA

自社事業の全国に向けた情報発信や、県内スタートアップ等自らがプロモーションのノウハウやコミュニケーションスキルを習得できる機会を提供するため、採択

したスタートアップ5社に対し支援を行いました。

また、SNS活用セミナー・フィールドワークの開催。RYO-FU BASEの意味的価値を可視化するため、経済ビジネス番組や毎日新聞紙面において露出・記事化を行いました。

【支援したスタートアップ】

企業名	事業概要	支援活動概要
InnoDrops	・アントレプログラム事業 「STEAMDAYS!!」 ・地域活性化・持続化促進事業 ・STEAMワークショップ事業 ほか	複雑な事業内容を分かりやすく伝達・訴求するコミュニケーションデザインをサポート
千紫万紅	カラーリングマムの生産・販売	“推し活”ビジネスへの昇華をサポート
株式会社 tuneX	音楽著作権・原盤権の売買仲介プラットフォームの提供	音楽の“民主化”事業の意味的価値の掘り起こし
株式会社徳永製茶	嬉野茶の卸/製造/小売	“茶匠”の役割の再発見／茶葉から飲む文化・一服の復権をサポート
フィッシングパーク ひらの	・管理釣り場運営事業 ・花卉ガーデン事業	実践的課題解決枠としての番組企画化・露出を実現

(iii) Startup Assign SAGA

更なる事業拡大をサポートするとともに、将来的には自身で雇用したいと思える能力や思いをもった人材との出会いを創出するため、採択したスタートアップ3社に対して全国からCx0人材（エキスパート）をアサインし、長期的な経営支援を実施しました。

【支援したスタートアップ】

企業名	事業概要	決定エキスパート
株式会社 HONZAN	地域資源の酒粕を活用した赤酢のブランディング・販売	食品専門コンサル代表
株式会社オヤモコモ	ベビー用品の開発・販売、親子向けイベント企画	元家電メーカーマーケティング責任者
InnoDrops	次世代を担うこどもたちへのアントレプレiership教育やSTEAM教育プログラムの提供	現職リクルート人事

(iv) 九州・山口ベンチャーマーケット

資金調達や協業等を目的とするピッチイベント「九州・山口ベンチャーマーケット」への出場を支援し、県内企業のプレゼンス向上を図りました。

【支援したスタートアップ】

支援企業
株式会社 HONZAN、株式会社 JICU

③ 資金調達支援事業【RYO-FU BASE】

(i) Startup Boost SAGA

経験豊富なメンターによる個別指導やメンタリングを実施し、ビジネスプランのブラッシュアップや資金調達ノウハウの習得を支援しました。さらに、金融機関等への成果発表イベントを開催し、資金調達の機会を創出しました。

【開催したイベント】

開催日	イベント名
2025 年 7 月 10 日	Startup Boost SAGA キックオフ
2025 年 8 月 20 日	Startup Boost SAGA 壁打ち合宿
2025 年 9 月 8 日	Startup Boost SAGA 投資家コーチング (第 1 回)
2025 年 9 月 26 日	Startup Boost SAGA 投資家コーチング (第 2 回)
2025 年 9 月 26 日	Startup Boost SAGA 中間ピッチ
2025 年 10 月 6 日	Startup Boost SAGA 投資家コーチング (第 3 回)
2025 年 10 月 22 日～24 日	Startup Boost SAGA 東京「合宿」
2026 年 1 月 15 日	Startup Boost SAGA 最終ピッチ

【支援した企業】

〈ピッチイベント〉

株式会社 JICU、SpoWell Lab 株式会社、株式会社 JAFAN、
一般社団法人 e-kagaku 国際科学教育協会

〈投資家コーチング〉

合同会社えぬじー、フィッシングパークひらの、千紫万紅、株式会社オヤモコモ、
株式会社ウェルネスエキスパート、株式会社 HONZAN、一般社団法人 InnoDrops

(ii) 資金調達促進事業

資金調達を行う県内企業やスタートアップ等に対して調達支援を行うファンドレーザーに対して負担金を支払うことで、県内企業やスタートアップの新事業展開や起業促進を図りました。

【資金調達した企業（ファンドレーザー制度活用分）】

申請者（ファンドレーザー）	起案者	目標額	調達額
株式会社 JICU	株式会社オヤモコモ	500,000	3,085,740
株式会社佐賀共栄銀行	株式会社寿々照	100,000	2,196,527
合計			5,282,267

④ DX 人材拡大推進事業【RYO-FU BASE】

(i) IT 人材起業・複業等活躍推進事業

起業や複業等にチャレンジしやすい環境を整備することを目的に「SAGA Smart Terakoya」を実施しました。具体的には、セミナーやイベントを開催し、起業や複業等に必要な基礎知識等を学び、県内企業やほかの起業家等とのコミュニティ形成を通じた自身のビジネスモデルの深耕を図りました。

また、複業人材活用事例や伴走支援内容等を元に、複業人材活用に関する事例集を作成し、県内企業への横展開を図りました。

【開催したイベント】

開催日	イベント名	参加者
2025 年 6 月 20 日	伊万里出張講座	26 名
2025 年 6 月 21 日	鳥栖出張講座	19 名
2025 年 6 月 27 日	鹿島出張講座	20 名
2025 年 6 月 28 日	唐津出張講座	19 名
2025 年 7 月 18 日	第 1 回複業講座	38 名
2025 年 8 月 29 日	第 2 回複業講座	65 名
2025 年 9 月 19 日	第 3 回複業講座	51 名
2025 年 10 月 24 日	第 1 回起業講座	43 名
2025 年 11 月 21 日	第 2 回起業講座	18 名
2025 年 12 月 19 日	第 3 回起業講座	27 名
2025 年 10 月 26 日	Challenge Terakoya 巖木さいこうプロジェクトアンサーイベント	12 名

2025 年 11 月 29 日、12 月 21 日	RYO-FU BASE×佐賀バレーナース コラボ SAGA Take Action「お仕事体験 2025」	25 名
2025 年 12 月 13 日	おぎ観光アイデアソン	16 名
2025 年 5 月 16 日	MEET UP!“TERAKOYA” vol.1	58 名
2025 年 10 月 21 日	MEET UP!“TERAKOYA” vol.2	27 名
2026 年 3 月 12 日	MEET UP!“TERAKOYA” vol.3	27 名
2025 年 7 月 15 日	外部人材と始める自社 DX 活用事例公開セミナー	12 名
2025 年 12 月 11 日	外部人材活用セミナーin 鹿島	7 名
2026 年 2 月 27 日	外部人材活用セミナーin 伊万里	11 名
2025 年 8 月 9 日	SAGA Smart Terakoya×しかラボ コラボ 企画【アイデアソン】	21 名
2025 年 10 月 15 日 ～令和 8 年 2 月 4 日	佐賀大学特別授業（ミズ様）	計 13 回

（ii）フレキシブル IT 人材育成・確保事業

フレキシブルな IT 人材の育成・確保に必要な知識・技術等の能力の取得を目的に、プログラミングの基礎的な知識・技能を習得する講座「SAGA Smart Samurai X」を開設しました。受講希望者向けに講座説明会・体験講座を 5 回実施し、140 名の参加者（応募者数 345 名）がありました。

本講座には 158 名の応募があり、面談等の選考を経て、100 名の受講者を選定しました。講座や自主学習等を行い、修了者は 83 名となり、目標 75%を超えました。また、受講者の就職支援を行い、7 名の就職・転職が決定しました。

【講座応募者等の推移】

年度	体験講座 参加者数	本講座 応募者数	本講座 定員	備考
令和 3 年度	862 名	499 名	200 名	本講座定員を 200 名に増員。
令和 4 年度	627 名	321 名	100 名	Smart Samurai、Smart Ninja を開始。
令和 5 年度	620 名	268 名	100 名	
令和 6 年度	417 名	199 名	100 名	
令和 7 年度	140 名	158 名	100 名	

(iii) AX 推進人材育成・確保事業

生成 AI の利活用を促進し、県内企業の AX (※) を推進するため、その担い手となる AX 推進人材の育成・確保を図る講座「RYO-FU AI SCHOOL」を開設しました。

説明会を 3 市で計 4 回行い、501 名の参加者があり、AI に対する県民の強い関心がうかがえました。本講座には 296 名の応募があり、書類選考、オンライン面接の結果、100 名の合格者を選定しました。本講座では 6 回の講座を開設しましたが、全ての回において修了率 90% (目標 75%) を超え、多くの AX の担い手を創出することができました。

※) AI トランスフォーメーション (AI Transformation) の略で、人工知能 (AI) を活用して産業やビジネスプロセスを再構成し、進化させることを意味します。

⑤ 産業 DX 啓発推進事業【RYO-FU BASE】

(i) 佐賀県産業スマート化センター運営事業

地域企業の DX 推進を支援するハブとして、個別相談、専門家派遣、セミナー、経営者コミュニティの運営を通じ、企業のデジタル活用を促進し、令和 7 年度は 4,557 名の利用がありました。デジタル利活用の個別相談では、DX 導入に関する経営者の悩みに対応し、AI・IoT 活用、生産性向上、新規ビジネス創出に関する支援を実施しました。

【佐賀県産業スマート化センター利用者数の推移】

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用者数 (名)	1,488	1,548	2,511	3,148	3,755	4,392	4,520	4,557
セミナー・イベント 参加者数 (名)	697	677	1,335	1,601	1,888	2,581	2,799	2,645
相談件数 (件)	25	68	143	131	164	157	163	163
マッチング 件数 (件)	22	61	126	33	30	30	25	27

(ii) DX 伴走支援事業

専門家が経営課題の整理から DX ツールの選定・導入支援までを伴走支援する DX 伴走支援事業「DX アクセラレータ事業」では、5 社の支援を実施し、実践的な DX の成功事例を創出しました。

【支援した企業】

企業名	業種	課題	支援活動概要
社会福祉法人 東方会	障害・介護福祉サービス 保育所型認定こども園	・重度障害者の急変への対応 ・夜間帯業務従事者の人材不足	・各業務の作業時間、作業内容の可視化 ・IT ツール導入支援 ・DX 認定取得支援
社会福祉法人 椎原寿恵会	高齢者・障害者福祉 保育分野	・デジタル機器フル活用には未達	・アナログ業務の実態把握 ・IT ツール導入支援 ・ツール運用フローの見直し ・DX 認定取得支援
株式会社平原 石油店	S S、燃料配送、整備点検、車販売、保険、レンタカー	・目隠し経営 ・顧客情報の未整備/未活用 ・業務効率化の遅れ	・全業務の洗い出し、作業時間。業務不可等の実態把握 ・IT ツールの導入支援 ・DX 認定取得支援
玄海漬株式会社	粕漬の製造販売	・在庫情報の未管理 ・販売データの未活用 ・営業情報の未共有 ・広報活動	・各業務のプロセス・データの流れを可視化 ・営業日報システムのデジタル化 ・EC サイト強化 ・DX 認定取得支援
社会保険労務士法人塚本事務所	社会保険労務士業	・労務管理の属人化 ・受け身の支援体制 ・AI や SaaS 系システムの未活用	・業務フローとデータの流れを可視化 ・契約業務の電子化 ・ナレッジ共有体制の構築 ・DX 認定取得支援

(iii) 事業拡大等促進事業

前年度発足した経営者のコミュニティ「SAGA DX リーダーズ」を軸に、セミナーやカンファレンスを通じて、県内企業に「事業そのものを変革し競争優位を確立する」視点での挑戦を促し、県内産業の DX の推進・深化及び事業拡大を図りました。

また、生成 AI、事業承継に係る 5 件のプロジェクトを立ち上げ、参加企業の生産性向上、収益アップ、事業開発の促進を図りました。

【開催したセミナー・カンファレンス】

開催日	イベント名	参加者
2025 年 5 月 26 日	第 6 回 SAGA DX リーダーズ	19 名（1 名）
2025 年 6 月 27 日	第 7 回 SAGA DX リーダーズ	14 名（5 名）
2025 年 7 月 23 日	第 8 回 SAGA DX リーダーズ	19 名（10 名）
2025 年 7 月 29 日	第 9 回 SAGA DX リーダーズ	18 名（5 名）
2025 年 8 月 26 日	第 10 回 SAGA DX リーダーズ	20 名（6 名）
2025 年 10 月 20 日	SAGA DX リーダーズ 2025 カンファレンス	62 名（26 名）

【プロジェクトに参加した企業】

プロジェクト		参加企業
生成 AI	会議の生産性向上 PJ	株式会社ソロン、株式会社 Kan-Z、藤津硝子株式会社、有限会社井上製麺
	SNS マーケ PJ	株式会社鈴花、有限会社金照堂、株式会社サガビソウ、有限会社菓心まるいち
	新年の経営者 PJ	上原鉄工建設株式会社、株式会社ソロン、有限会社菓心まるいち、湧現会社ライフ・シップ
事業承継	収益アップ PJ	有限会社菓心まるいち、有限会社金照堂、鶴製茶、有限会社お茶の嬉野園
	事業開発 PJ	田中運輸株式会社、森鉄工株式会社、有限会社ライフ・シップ、株式会社シマブン

⑥ 佐賀型伝統産業進化実証プロジェクト事業

神崎市の特産品である神埼そうめん事業者が直面する後継者不足や市場競争の激化といった課題を、ブランディングやデジタル技術の導入、事業者間の連携促進によって解決し、持続可能な事業モデルの構築を目指しています。

令和 7 年度は、市場調査や消費者分析、ブランド戦略の立案を行い、神埼の強みを活かしたブランド「神埼『総』めん」と定義し、3 月に記者発表イベントを開催しました。

また、11 月に東京ビッグサイトで開催された地方銀行フードセレクションに出展し、神埼そうめんの周知活動を行いました。その他、ランディングページ、ブランドムービー、リーフレットを作成するとともに、公式インスタグラムで神埼総めんの情報発信を行いました。

2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行う。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- 1 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）
- 2 さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）
- 3 設備貸与事業
- 4 現場力向上・デジタル導入支援事業
- 5 中小企業等外国出願支援事業
- 6 佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業

【公2個別事業の内容】

（1）さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（販路拡大補助事業）

[37,809 千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり企業が実施する自社製品や自社技術の宣伝を行う展示会出展等の支援や商談会等を開催し、企業に対する商談や PR の場を支援することで販路拡大を図る。

【実績】

① 販路拡大補助事業

県内のものづくり中小企業者が国内で開催される各種展示会に出展し、自社製品や自社技術の宣伝による販路の拡大を目指す取り組みに対し、経費の一部を補助した。

企業名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額 （千円）
大栄工業株式会社	ものづくりワールド東京 計測・検査・センサ展	画像検査装置『みえるくんシ リーズ』	454
森鉄工株式会社	第8回プレス・板金・フォー ミング展 MF-TOKYO2025	ファインブランキングプレス	700

企業名	展示会名称（開催月）	出展した製品・技術	補助金額 （千円）
株式会社キハラ	SCAJ ワールドスペシャル ティコーヒーカンファレンス アンドエキシビジョン 2025	自社開発商品と他社 OEM 製品	515
株式会社まんてん	地方銀行フードセレクション 2025	万能薬味ごまミックス	125
薬膳香蓮株式会社	①Food STYLE Japan（東京） ②Food Expo 九州（福岡） ③地方銀行フードセレクション 2025	薬膳なつめグラノーラ、参鶏湯 風薬膳スープ、オリジナル薬膳 茶	295
株式会社大慶	①テーブルウェア・フェス ティバル 2025 ②東京ギフト・ショー春 2026	有田焼 究極のごはん鍋 HACHI 及び食器	311
株式会社大橋	2025 森林・林業・環境機械 展示実演会（宮城）	樹木粉碎機 型式：GSC401D、 GSC1750DC、ES160DH（計 3 機種）	700
株式会社中村電機 製作所	INCHEM TOKYO 2025	①防爆形樹脂ボックス ※新技術製品 ②防爆形ゲートウェイ（信号変 換送受信機） ③防爆形タッチパネル PC	624
株式会社九州パー ル紙工	FOOD STYLE JAPAN 2025 （九州）	2段容器 KP小鉢65-2二段 ED 杉 松花堂容器 松花堂小-6	249
株式会社大原老舗	地方銀行フードセレク ション 2025	松露饅頭、久流美ダックワー ズ、もなかあいす	265
株式会社森うなぎ 屋	①Food EXPO Kyushu2025 ②地方フードセレクション 2025	ウナギ蒲焼き・サバ蒲焼き（手 捌き・手焼き・炭火焼き）	135
株式会社ワイビー エム	①建設技術フォーラム 2025in ちゅうごく ②建設技術展 2025 近畿 ③建設技術フェア 2025in 中部	地盤改良機「GI-180C-1」	507
合 計			6,353

② 取引あっせん支援

県内外の発注企業及び県内の受注企業に関する調査の実施や情報提供、取引あっせん、商談会の開催、展示会（機械要素技術展）への出展支援等を実施し、県内企業の取引拡大を図った。

ア 取引あっせん状況

登録企業数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注			
201	405	245	29	42,696

イ 佐賀県受注企業名簿作成（令和8年版）

ウ 発注開拓調査 年1回（九州合同）

エ 展示会・商談会の開催

- 商談会開催・参加支援 4回（県内参加企業 延べ94社）
 - ・「製造技術マッチングフェア」（令和7年7月、北九州市、参加19社）
 - ・「第1回佐賀県受発注商談会（対面）」
(令和7年7月、佐賀市、参加30社)
 - ・「第2回佐賀県受発注商談会（対面）」
(令和7年11月、佐賀市、参加25社)
 - ・「第3回佐賀県受発注商談会（対面）」
(令和8年2月、佐賀市、参加20社)

- 展示会出展支援 6回（県内参加企業 延べ28社）
 - ①「中小企業テクノフェア」（令和7年7月、北九州市、参加2社）
 - ②「SEMICON 台湾」（令和7年9月、台北市、参加5社）
 - ③「モノづくりフェア」（令和7年10月、福岡市、参加4社）
 - ④「第2回九州半導体産業展」（令和7年10月、福岡市、参加4社）
 - ⑤「第3回ものづくりワールド福岡」（令和7年12月、福岡市、参加4社）
 - ⑥「第39回ネプコンジャパン」（令和8年1月、東京都、参加9社）

オ 取引かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「取引かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 36件（うち無料弁護士相談5回）

◇主な経費の内訳：補助金、展示会出展費、職員旅費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	補助金採択件数	10 件	15 件
	取引あっせん件数	120 件以上	245 件
	下請かけこみ寺相談件数	10 件以上	36 件
成果指標	取引成立件数	40 件以上	29 件
	本事業で出展した展示会等での新規取引先獲得	3 件	6 件

【評価】

県内での商談会開催、九州合同商談会等の活用、県内外発注企業への訪問による発注案件の掘り起しにより、県内中小企業のさらなる取引の拡大につなげることができた。

(2) さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業（生産性改善・高度化補助事業）

[24,996千円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業が行うDX、GXに資する事業であって、設備の高度化や生産環境の改善を実施し、生産性向上による経営安定化を目指す取組を支援する。

【実績】

ものづくり事業者が行う、DX又はGXの実現に貢献する取組であって、かつ、新規設備導入や設備更新、システム導入等による生産性向上につながる事業に要する経費を補助した。

区分	企業名	概 要	補助金額 (千円)
DX	(有)坂本自動ドア製作所	3D ソリューション推進による DX の実現	5,000
	三福海苔(株)	従業員の幸せ創出！DX の実現による能力を発揮できる職場環境整備及び経営基盤強化計画	3,000
	(株)佐藤木材	デジタルシステムを活用した受発注・在庫管理システムの合理化	3,063
	小松酒造株式会社	高性能全自動分析機器の導入による業務効率化及び製品の高品質化	3,380

区分	企業名	概 要	補助金額 (千円)
	有限会社鮮商事	アナログから DX 化へ！生産体制見直し・改善による生産性向上事業	3,286
	株式会社九州パール紙工	食品業界コストアップ対応に対する付加価値容器の新規格製造販売	1,277
G X	株式会社小嶋や	冷凍どら焼きの量産体制強化と GX 推進に向けた中型ブラストチラー導入事業	1,018
	辻精磁社	焼成窯にセラミックファイバーを貼り、生産性向上と GX 化を実現する	2,296
D X/ G X	(有)金善製陶所	材料費及び電気代の上昇下における省力化設備導入による生産性向上	2,673
合 計			24,993

◇主な経費の内訳：補助金

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	補助金採択件数	5 件	9件
成果指標	5 年以内に採択企業の付加価値 5 % 向上	3 社以上	令和 3 年度採択企業 12 社中 5 社達成

【評価】

D X 又は G X に貢献する取り組みを通じて生産性改善・高度化を目指す県内ものづくり企業9社に対し、生産設備の更新や新規設備の導入等に要する経費を補助することで売上拡大や生産コストの削減による利益の増大へ寄与出来た。

(3) 設備貸与事業 [577 千円：佐賀県貸付金・自主]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

小規模事業者等（創業者を含む）の設備近代化のための設備投資を支援し、経営基盤の強化を図る。

① 旧設備貸与事業

小規模企業者等設備導入資金助成法（昭和 31 年法律第 115 号）が平成 25 年 3 月 31 日で廃止されたことに伴い、平成 27 年 3 月 31 日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（3 件）を行っている。

② 新設備貸与事業

平成 27 年 4 月 1 日より、独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、小規模企業者及び創業者で経営の革新を図るため、必要な設備の導入の促進のため、佐賀県から資金を借り受け、新たに導入する必要のある設備を当公益財団が代わって購入し、長期の割賦販売又はリース（賃貸）を行ってきた。

平成 30 年 3 月 31 日をもって新規の割賦販売又はリース（賃貸）を終了し、以降は債権管理（令和 8 年終了：3 件）を行っている。

（４）現場力向上・デジタル導入支援事業

[29,030 千円：佐賀県補助金、（公財）全国中小企業振興機関協会助成金]

《担当部署：ものづくり振興課》

【目的】

県内ものづくり中小企業の現場改善支援、経営分析、事業計画策定等の支援、及び勉強会・セミナー等を実施し現場力の強化、経営の安定化を図る取り組みを支援する。

【実績】

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、6 名の専門員が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催等を実施した。

①専門員による支援先支援内容

No.	企業名	支援内容
1	(株)一新堂	工程改善、ペーパーレス化支援
2	南田産業(株)	3 S 活動支援
3	(有)サガ・ビネガー	工程改善、ペーパーレス化支援
4	(有)桜月堂	工程改善、在庫管理のDX化支援
5	宮崎鉄工(株)	従業員数教育（組織体制・品質管理） 社内規定の整備
6	吉田刃物(株)	バックオフィスのDX化 在庫管理のアプリの導入支援
7	(株)江藤製作所	5 S 活動指導
8	(株)荻野製作所	スキルマップの作成支援
9	種商(株)	在庫管理のアプリの導入支援 工場内遮熱対策の提案
10	九州製鋼(株)	5 S 活動指導

No.	企業名	支援内容
11	ケイシティイー(株)	図面管理システムの導入支援
12	(合同)田島柑橘園&加工所	製造ラインの自動化
13	(有)小松鉄工所	業務フローの明確化 受注管理システムの構築
14	伊之助製麺(株)	保守点検記録のペーパレス化 工場内ネットワークの構築
15	(株)小嶋や	工程改善 販売管理のDX化
16	(株)亀井製作所	製造原価管理支援
17	(株)八雲製作所	日報報告業務のペーパレス化
18	(株)グッドリーフ	自動機のDX化による工程改善
19	共立エレクトクス(株)	ISO 内部監査員研修
20	精発ばね工業(株)	加工装置のIot化
21	(株)大神	ISO 内部監査員研修
22	モダンパック(株)	工程改善
23	大栄工業(株)	品質管理に関する勉強会の実施

②「現場力向上」のために実施した9回のセミナー

No.	テーマ	講師	内容	参加者
1	GAS 超入門セミナー	ものづくり振興課 藤代専門員	GAS の使い方・活用事例の紹介	9 名
2	図面の見方セミナー	西村 仁 氏 (ジン・コンサルティング)	J I Sに基づく図面のルールを基礎から学ぶ	40 名
3	決算書の読み方セミナー	よろず支援拠点 松重 CD	決算書の基礎知識や、業務への活かし方について学ぶ	25 名
4	GAS 超入門セミナー (追加開催)	ものづくり振興課 藤代専門員	GAS の使い方・活用事例の紹介	8 名
5	決算書の読み方セミナー (追加開催)	よろず支援拠点 松重 CD	決算書の基礎知識や、業務への活かし方について学ぶ	21 名
6	価格転嫁・値上げ交渉術セミナー	よろず支援拠点 小島 CD	価格転嫁の必要性、交渉の進め方について学ぶ	9 名
7	原価計算基礎セミナー	よろず支援拠点 長岡 CD	原価計算、管理会計について基礎から学ぶ	29 名

No.	テーマ	講師	内容	参加者
8	情報セキュリティ対策セミナー	IPA、佐賀県警	企業が実施すべきセキュリティ対策の基礎や、最近の犯罪事例を学ぶ	26 名
9	人材採用&人手不足対策セミナー	①中島製作所 ②よろず_江口 CD ③佐賀県産業人材課 原係長	人材採用における成功事例の紹介、人材戦略の策定方法について学ぶ	11 名
10	測定工具の使い方&管理の完全攻略	株式会社ミットヨ	ノギスやマイクロメーター等の測定工具の使い方について学ぶ	32 名
11	生成AIを業務に活用する！セミナー スマート化センター共催	柳沼 吉永 氏	生成AIの基本から、実際の業務での活用方法について学ぶ	50 名

◇主な経費の内訳：人件費、リース料、セミナー開催経費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	現場力改善・デジタル導入支援を希望する企業への訪問ヒアリング	50 件	50 件
	現場力向上・デジタル導入支援企業	15 社	23 社
	県内ものづくり企業の従業員のレベルアップを目的としたセミナー等	9 回	11 回
	セミナーへの参加者	90 人	260 人
成果指標	支援企業において、支援前と比較して改善した企業	6 社	6 社
	セミナー参加者の満足度	80%	93%

【評価】

県内企業が持つ様々な課題に対して、伴走型の支援を実施することで、生産現場の効率化と収益性の向上を図り、他社との競争力強化に貢献することができた。また、専門技能の向上などに関するセミナー等により、参加者にもものづくりに対する新たな気づきや発見を与えるなど、人材育成等にも貢献した。

(7) 中小企業等外国出願支援事業

[4, 146 千円：国補助金・自主]

《担当部署：技術振興課》

【目的】

特許等知的財産権の外国出願に要する費用の一部を補助することにより、県内中小企業の海外事業展開を支援する。

【実績】

外国への事業展開等を計画している県内中小企業者等の特許等外国出願に対して支援を行った。

○支援件数 8 企業 11 件（特許 2 件、商標 9 件）

企 業 名	種別	件数	補助金額 (千円)
吉田刃物(株)	商標	2 件	334
園田総合 HD(株)	商標	1 件	375
(有)井上製麺	商標	2 件	475
(株)スポーツバウンディア	特許	1 件	853
	商標	1 件	360
(株)泰和通商	商標	1 件	412
(株)海男	特許	1 件	1, 200
DRfactory (同)	商標	1 件	84
ボンジュール(株)	商標	1 件	取り下げ
			4, 093

【指標】

○活動指標：補助金採択件数 目標 7 件（特許 2 件、商標 5 件）

実績 11 件（特許 2 件、商標 9 件）

○成果指標：県内企業の海外進出、延べ国数目標 10 か国に対し、実績 23 か国となった。

【評価】

特許 2 件（6 か国）、商標 9 件（17 か国）の外国出願を支援でき、県内中小企業等の海外への事業展開に寄与するとともに、企業経営力の強化に貢献できた。

(6) 佐賀県産業イノベーションセンター施設貸与事業 [6,929 千円：佐賀県委託料]
《担当部署：総務企画課》

【目的】

県内で事業化を考え創業、経営革新、新分野進出等を目指す個人、中小企業者等が研究開発、販路開拓等の用に供するため、貸研究開発室、貸研修室を設置し、研究開発や人材育成の環境を整える。

【実績】

① 研修室貸出

- ・第1研修室利用承認件数 114 件
- ・第2研修室利用承認件数 79 件
- 計 193 件

② 研究開発室貸出

- ・入居貸出件数 4 件

◇主な経費の内訳：保守管理料、光熱水料費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	研究開発室利用室数	全5室	4室
	研修室年間利用件数	170件	193件
成果指標	利用者満足度	95%以上	98%

【評価】

設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行い事業活動環境の整備に寄与した。

利用者満足度は維持しているが、研修室利用は193件（前年比86%）と減少しているため、令和8年度は管理運営における環境整備や広報等により、利用者数増加に向けて取り組む。

3 県内中小企業の福利厚生の実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公3）

（1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[29,571 千円／受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

【目的】

事業所における人材確保や定着化に寄与し、企業活動の維持・向上を図るとともに地域経済の活性化に資することを目的とする。

【実績】

① 会員の状況

令和8年3月末時点で事業所数211社、会員数2,295名であり、昨年度末の事業所数220社、会員数2,263名に比べ9事業所減少したが、会員数は32名の増加となった。

事業対象：中小企業事業主及び当該中小企業の従業員（会員制）

② 事業実績

今年度の利用者数は6,286名（昨年度比164名増）、助成金額12,789千円（前年度比1,359千円増）となった。

ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ997名、助成額3,245千円

このうちインフルエンザ予防接種の助成は、前年度534人に対して今年度は558名であった。

イ 自己啓発事業

各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的にPRしたが、利用がなかった。

助成なし

ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ3,439名、助成額6,545千円

エ その他事業

食事券や有料道路回数券の格安価格での販売や福袋企画等を行った。

今年度は、食事券の利用が多数あった。

助成者数述べ 1,850 名、助成額 1,883 千円

◇主な経費の内訳：助成事業費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標		実 績	
		事業所数	会員数	事業所数	会員数
活動指標	会員事業所数・会員数	10 社増	62 名増	9 社減	32 名増
成果指標	会員満足度	90%以上		96.8%	

【評価】

令和 7 年度は、コロナ禍以前には戻っていないものの、宿泊施設利用補助や飲食店利用補助等が伸びた。会員数は若干増加した一方、利用頻度の低下と会員の高齢化などを理由に事業所の脱退が目立った。会員満足度については成果指標を上回る評価を得ており、引き続き入会促進に取り組む。

4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他１）

（１）共済給付事業［4,958千円／受取会費］

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

【目的】

（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会の共済制度を活用し、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を目的とする。

【実績】

① 会員数 140 社、1,381 名（令和 8 年 3 月末現在）

② 給付件数 330 件、給付額 4,026 千円

●出生祝金	23 件	230 千円	●入学祝金	84 件	840 千円
●結婚祝金	18 件	360 千円	●勤続祝金	110 件	1,245 千円
●傷病保険金	17 件	350 千円	●住宅保険金	1 件	40 千円
●成人祝金	8 件	80 千円	●還暦祝金	24 件	240 千円
●死亡弔慰金	41 件	318 千円	●死亡保険金	3 件	300 千円
●障害保険金	1 件	23 千円			

◇主な経費の内訳：助成事業費、人件費

【指標】

区 分	項 目	目 標		実 績	
		事業所数	会員数	事業所数	会員数
活動指標	会員事業所数・会員数	10 社増	62 名増	9 社減	32 名増
成果指標	会員満足度	90%以上		96.8%	

【評価】

会員が各種共済給付を受けることにより、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定が図られた。

5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援等を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

【公4個別事業の内容】

（1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[661,778千円：佐賀県委託料等]

【目的】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターを運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究を支援するとともに、光源とその利用に関する研究開発を行い、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する。

【実績】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターの指定管理者として、設置目的である「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興」の実現に向けて、施設設備の管理や貸与、企業・大学等が行うシンクロトロン光を利用した研究開発の支援、シンクロトロン光の光源とその利用に関する研究開発、諸活動によって得られた知見等の成果普及を行った。

①施設貸与・利用支援

施設の県内産業利用を推進するため、県有ビームラインのユーザーサポートや県内・外への利用促進活動を行った結果、利用実績は、表1のとおりとなった。

ユーザーの施設利用に当たっては、関係法令の遵守、放射線防護体制の整備に努め、施設利用者の放射線障害の発生防止、施設の安全管理に努めた。

表1：県有ビームラインの利用実績

区 分	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数
全 体	204 件	3,256.0 時間	166 件	2,890.0 時間	170 件	2,781.5 時間
うち県内利用	65 件	1,122.6 時間	60 件	1,009.5 時間	43 件	778.5 時間

※令和7年度は蓄積リング主要電磁石電源更新(4月～5月中旬)及び高周波加速空洞更新(11月～12月中旬)に伴うシャットダウンにより、ユーザー利用日は令和5年度より34日間、令和6年度よりも28日間短い。

<主な利用促進活動>

○産業利用コーディネート事業

産業利用コーディネータ 3 名を雇用し、県内企業訪問や利用課題の発掘、課題解決支援を行いながら、県内企業等の利用促進に努めた。(②-【指標】参照)

○県試験研究機関との連携

林業試験場、畜産試験場、有明水産振興センター等県試験研究機関の訪問やウェブ打合せを行い、共同研究等につなげ、県内産業利用を推進した。

機関名	研究テーマ・内容
林業試験場、(森林整備研究機構)	放射光 X 線回析法を用いたスギ材の評価
有明水産振興センター	海苔の品質評価に係る海苔中の元素の XAFS 測定
畜産試験場	画像解析による牛胚及び精子の凍結手法評価技術検討

○その他

以下の取組みを通じて、国内の産業動向・情勢把握、職員個々の自己研鑽を図りながら、研究センターの周知及び利用を促した。

- ・各種展示会への出展参加や産学官連携機関イベントへの参加（下表参照）

表：主な展示会、イベント参加

行事名	開催地	開催日	参加形態
精密工学会	東京都千代田区	4 月 22 日他	聴講
令和 6 年度放射光利用実地研修成果報告会	宮城県仙台市	6 月 4 日	聴講
第 1 回広域連携推進検討 WG	福岡県福岡市	6 月 9 日	オブザーバー
九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）総会	福岡県福岡市	6 月 16 日	聴講 交流
課題解決 EXP02025	福岡県北九州市	7 月 2 日～4 日	視察
鹿児島県工業技術センター研究成果発表会	鹿児島県霧島市	7 月 17 日	聴講
日本食品科学工学会第 72 回大会	神奈川県藤沢市	8 月 27 日～29 日	視察
第 31 回日本木材学会九州支部大会	佐賀県鳥栖市	9 月 1 日～2 日	発表、聴講
第 22 回 SPring-8 産業利用報告会	大阪府大阪市	9 月 2 日～3 日	発表
第 2 回[九州]半導体産業展	福岡県福岡市	10 月 8 日～9 日	出展
モノづくりフェア 2025	福岡県福岡市	10 月 15 日～17 日	聴講
第 2 回広域連携推進検討 WG	佐賀県鳥栖市	10 月 27 日	オブザーバー

第13回 SPring-8 次世代先端デバイス研究会	東京都千代田区	10月29日	聴講
九州先端科学技術研究所 設立30周年記念セミナー・交流会	福岡県福岡市	11月14日	聴講 交流
アグリビジネス創出フェア 2025	東京都江東区	11月26日～28日	視察
2025 年度応用物理学会九州支部学術講演会	宮崎県宮崎市	12月6日～7日	広告
第3回 SPring-8 先端電池研究会	京都府京都市	12月10日	聴講
セミコンジャパン 2025	東京都江東区	12月17日～19日	視察 出展
第39回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム	宮城県仙台市	1月7日～9日	発表、聴講、出展
Nano tech2026	東京都江東区	1月28日～30日	視察
九州・沖縄地域産業技術連携推進会議 九州・沖縄地域部会総会	長崎県長崎市・大村市	1月29日～30日	オブザーバー
第14回あいちシンクロトロン光センター成果発表会	愛知県名古屋市	3月2日	聴講
第76回日本木材学会大会広島大会	広島県東広島市	3月16日～18日	発表、出展

- ・県内に拠点を構える企業の県外研究開発部署や九州の大学・公設試等の訪問活動
- ・各種アンケート調査（ユーザーアンケート調査（5月））

②シンクロトロン光の研究・普及

シンクロトロン光の研究について、科学研究費助成事業（日本学術振興会）等の競争的外部資金を活用し、試験研究を推進した。

普及については、専門学会等での発表や講習会、視察・見学受入を通じた若手研究者の人材育成、大学での講演、一般向けには、年1回の一般公開、県主催のイベントを活用し、普及啓発を図った。

<人材育成>

○講習会：

行事名	会場	開催日	参加者数
SAGA-LS 夏の学校（熊本大学）	当研究センター（各 BL）	8月25日～26日	7人

※上記講習会は新規利用にも繋がっている。

○職場体験受入：例年、地元の高校生や中学生の職場体験を受入れ、社会学習の場を提供している。

・参加者 1 人（鳥栖市内の中学校 1 校）

○大学での講義：九州大学と連携し、当研究センターの研究者による同大学での講義を行い、将来の企業の研究活動、地域産業を支える人材の育成に貢献した。

<研究成果発信>

○研究センター主催：

行事名	会場	開催日	参加者数
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター開所 20 周年記念式典・記念シンポジウム	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター	2 月 10 日	招待客 延 113 人

○関係機関主催：

行事名	開催地	開催日
10th International Conference on X-ray Optics and Applications (XOPT2025)	神奈川県横浜市	4 月 15 日～17 日
The 10th International Symposium on Organic and Inorganic Electronic Materials and Related Nanotechnologies (EM-NANO2025)	福井県福井市	6 月 11 日～14 日
第 22 回日本加速器学会年会	東京都世田谷区	8 月 6 日～8 日
日本食品工学会第 26 回（2025 年度）年次大会	茨城県つくば市	8 月 7 日～8 日
The 4th International Pan American Light Sources for Agriculture (PALSA 2025)	カナダ	8 月 20～22 日
第 44 回日本医用画像工学会	東京都文京区	8 月 28 日～30 日
第 31 回日本木材学会九州支部大会	佐賀県鳥栖市	9 月 1 日～2 日
第 22 回 SPring-8 産業利用報告会	大阪府大阪市	9 月 2 日～3 日
第 86 回応用物理学秋季学術講演会	愛知県名古屋市	9 月 7 日～10 日
第 28 回 XAFS 討論会	茨城県つくば市	9 月 14 日～16 日

日本物理学会第 80 回年次大会	広島県東広島市	9 月 16 日～19 日
2025 年日本表面真空学会学術講演会	茨城県つくば市	10 月 20 日～22 日
第 54 回結晶成長国内学会	石川県金沢市	11 月 11 日～13 日
第 39 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム	宮城県仙台市	1 月 7 日～9 日
European Congress of Radiology 2026 (ECR2026)	オーストリア	3 月 4 日～8 日
第 73 回応用物理学会春季学術講演会	東京都目黒区	3 月 15 日～18 日
第 76 回日本木材学会大会広島大会	広島県東広島市	3 月 16 日～18 日

○一般公開 : 一般を対象に実験ホール見学ツアー、科学体験ワークショップなどのイベント実施

・令和 7 年 9 月 27 日実施、参加者 384 人

○視察・見学 : 企業や学校（高校・大学、高専）の教員・生徒、地域向けに施設概要の紹介

・随時受け入れ 130 件、見学者 1,132 人

○その他 : プレスリリース、ホームページを活用した情報発信、年報、広報誌、県主催イベント（ものスゴフェスタ）を活用した科学体験、ポスター啓発

◇主な経費の内訳 : 人件費、利用支援・促進費用（試験研究、イベント実施等）、施設維持・運転費用（保守管理、光熱水費等）

【指標】

1 指標 :

【活動指標】

①県有ビームライン利用の確保（施設の利活用と利用事例の創出）

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		評 価
			目標	実績	
利用件数	170 件	166 件	140 件	204 件	達成
利用時間	2781.5 時間	2890.0 時間	2,600 時間	3,256.0 時間	達成

②産業利用コーディネート活動（県内利用の確保）

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		評 価
			目標	実績	
延べ営業件数 ※1	66 件	114 件	100 件	125 件	達成 内訳：県内 74 件、県外 51 件
県内利用件数	43 件	58 件	50 件	65 件	達成 内訳：大学 31 件、企業 24 件、 公設試等 10 件
新規課題利用件数 ※2	5 件	7 件	5 件	4 件	未達成 内訳：包括利用 2 件、一般利用 1 件、共同研究 1 件

※1 令和 7 年度から「県内の企業・公設試・大学等延べ訪問件数」より変更

※2 令和 6 年度から「新規利用開拓数」より変更

【成果指標】

- ・シンクロトロン光を活用した産業利用事例の創出
- ・次世代のモノづくりにつながる先端技術や新製品の研究・開発を行う企業等の増加

2 評価：

【活動指標】

①県有ビームライン利用の確保（施設の利活用と利用事例の創出）

- ・令和 7 年度は、本来令和 6 年度に実施する予定であった蓄積リング主要電磁石電源更新工事を繰り越して実施したことから、ユーザー利用日が令和 6 年度よりも 28 日間短くなったが、利用件数及び利用時間ともに大きく指標をクリアした。この主要因としては県内県外共に一般利用が大きく伸びた（前年度より利用件数は 25 件増、利用時間は 369.0 時間増）ことが考えられる。
- ・また、令和 7 年度に取組が始まった九州大学とのビームライン相互利用についても一定の実績（利用件数は 7 件、利用時間 137 時間）があった。
- ・令和 6 年度の指標は例年より約 1 か月ユーザー利用日が短くなることを見込んで設定したが、前述のとおり令和 7 年度は令和 6 年度よりもさらに約 1 か月半ユーザー利用日が短くなるということで、例年より約 3 か月ユーザー利用日が短くなることを考慮して大きく下げた指標を設定した。しかし、年度初めのシャットダウンは他の月への振替が容易なことから結果的には影響がほぼなかったものと考えられる。

②産業利用コーディネート活動（県内利用の確保）

- ・延べ営業件数及び県内利用件数は指標を達成したものの、県内新規課題利用件数は目標 5 件に対し実績 4 件となり指標を達成できなかった。
- ・研究部門を持たない県内中小企業においては継続的な利用がないことと、これまでの営業活動により掘り起こしが一定程度進み飛躍的な伸びが期待できない中、地道な活動により確実に新規課題の利用には結びついている。
- ・この他、ある公設試から令和 8 年度入ってから利用したい旨の申出も受けている。

【成果指標】

- ・シンクロトロン光を活用した産業利用事例の創出等には、生産者に近い公設試との連携が欠かせないため、県林業試験場及び国立研究開発法人との共同研究により“サガンスギ”の強度メカニズム解明の研究を深化させたり、県有明水産振興センターと海苔の品質評価に係る海苔中の元素の共同研究も引き続き実施するなど、共同研究や課題解決に対する取り組みを行っている。
- ・この他、新たに畜産試験場と画像解析による牛の受精卵の凍結手法評価技術検討の共同研究を開始しており、このような活動が次世代のモノづくりにつながる先端技術や新製品の研究・開発を行う企業等の増加に資するものとなっていくことが期待される。

6 農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援 (公5)

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売を促進する。

【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

- 1 県産品情報発信力強化事業
- 2 県産品情報発信拠点運営事業
- 3 さが園芸 888 マッチング支援事業
- 4 大都市圏販売力強化支援事業
- 5 物産振興支援事業
- 6 県産品 PR・販売促進事業
- 7 輸出開拓・促進事業

【公5個別事業の内容】

(1) 県産品情報発信力強化事業

[29,105 千円／佐賀県補助金]

【目的】

佐賀県産品の販売促進を目指し、大都市圏の一般消費者をメインターゲットとして、継続的に情報発信を行うことにより県産品の認知度及び評価の更なる向上を図る。

【実績】

① メディア等による情報発信

県産品の認知度・関心度・購入意欲向上を目的に SNS「さがぴん」やホームページ、メディア等を活用した情報発信を行った。

○SNS

SNS「さがぴん」のフォロワーは X6.0 万人、Instagram33,201 人、TikTok9,486 人となった。各媒体を活用し、イベント等の情報発信を実施した。

○ホームページ

定期的な商品紹介やイベントの投稿と合わせて、sagair、SAGA MADO 等の商品訴求のためのプレゼントキャンペーンを計 2 回実施。

○メディア

公社発信のプレスリリースをリリース配信サービス「PRTIMES」を通じて 41 本配信を行い 157 件の媒体（ウェブ 134 件、新聞 10 件、テレビ 13 件）に掲載された。

② 情報発信力強化支援

県内事業者の情報発信力強化を狙った伴走型支援、経営に関する講演会を実施した。

○ブランド力強化講座を開催

○東京インターナショナル・ギフト・ショーへの出展
（2026 年 2 月 4 日～6 日） 出展企業：5 社

○SNS 販促支援事業

◇主な経費の内訳：委託費、出展料、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
成果指標	PRTIMES 経由の記事掲載	120 件	157 件
	ホームページ PV 数	7 万 8 千 PV	11 万 4 千 PV
	さがびん SNS フォロワー	6,000 人増	7,321 人増

【評価】

- ① SNS へ投稿する動画については、最新トレンドを踏まえて構成等を変更した結果、目標を上回るフォロワーを獲得でき、県産品についての情報発信・認知度向上に繋げることが出来た。
- ② ブランド力強化講座では、各事業者へ情報発信力を強化する伴走支援を提供し、ギフトショー出展までサポートすることで多くの商談につながった。また、SNS 販促支援事業では、クリエイターとの協業機会を提供することで、県内事業者の SNS 運用および商品開発力のレベルアップ、SNS を通じた販売促進につながった。

（2）県産品情報発信拠点運営事業 [81,436 千円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

コムボックス佐賀駅前の観光・県産品情報発信拠点「SAGA MADO」に、地元客をはじめ、観光客やビジネス客等と呼び込むことと併せて、上質な県産品に触れて

もらうこと、県産品や観光資源など佐賀県の情報に触れてもらうこと、それらの情報を広く発信してもらうことにより、「佐賀県」の県産品をはじめとする認知度及びプレゼンスの向上を図る。

また、デジタル技術を活用して県産品のテストマーケティング機能を強化することにより、県産品の販売促進を図る。

【実績】

観光・県産品情報発信拠点「SAGA MADO」では、令和7年度の来場者延べ人数は、258,895人に達した。

① 県産品の加工食品や工芸品を厳選し販売・展示

・取引事業者 129 社、取扱商品 約 1,000 種類を販売・展示

② 県産品の POP UP や PR イベント等の実施

・店舗での POPUP・イベントを 23 回開催

母の日 POPUP／父の日 POPUP／佐賀市北商工会 地域ブランド「ふみや」逸品販売会／小城羊羹 POPUP／ゾンビランドサガ POPUP／佐賀の山 POPUP／佐賀大学ディスプレイ／佐賀伝統工芸 POPUP 他 15 件

③ 各種メディアの露出

・メディア記事～テレビ 4 件、新聞 5 件、WEB メディア 643 件

・SNS（Instagram・X・Facebook）での情報発信

④ AI カメラ連動レジ等のデジタル技術を活用し、県産品の各事業者へアドバイスを含めたフィードバックを実施

◇主な経費の内訳：委託費、負担金、ソフトウェア等保守料 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	SNS での情報発信件数	450 件	450 件
	事業者へのフィードバック数	100 件／年	100 件／年
成果指標	SAGAMADO の利用者数	600 人／日	711 人／日
	SNS フォロワー数	5,000 人	5,921 人

【評価】

SNS での情報発信や各種 POPUP の開催等を積極的に実施したことで、県産品の認知度およびプレゼンスの向上につながった。

（３）さが園芸 888 マッチング支援事業**[8,911 千円／佐賀県補助金]****【目的】**

さが園芸888運動と連動し、園芸生産者の販路として産直EC支援、ホテル・飲食店とのマッチングや高質スーパーでの首都圏フェアの実施を通じて、販売先の確保（出口対策）、高単価での取引の推進を図る。

【実績】

園芸生産者のこだわり野菜・果物を中心に、産直 EC サイトと連携した販路開拓、首都圏のホテル・飲食店・高質スーパーでのフェアやマッチングを実施した。

- ① 産直 EC サイト「食べチョク」を運営する（株）ビビッドガーデンと連携し、ラ・ボンヌ・ターブル（東京都）において、飲食店フェア及び食べチョクでのオンライン販売促進企画等の実施
- ② マルイファミリー溝の口店（神奈川県）において佐賀いちごマルシェを開催
- ③ 資生堂パーラーレストラン（大都市圏 5 店舗）において「佐賀フェア」開催
- ④ 紀ノ国屋 5 店舗（首都圏）において旬のフルーツ野菜「佐賀フェア」開催
- ⑤ ホテル、飲食店、高品質スーパーマーケット等とのマッチング支援
主な取引先：羽田エクセルホテル東急、資生堂パーラーレストラン

◇主な経費の内訳：委託費、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	商談件数	20 件（成約 5 件）	50 件（成約 37 件）

【評価】

ホテル・レストランおよび高質スーパーにおけるフェアの開催に加え、生産現場等の視察を通じたマッチング支援に多く取り組んだことにより、成約の増加に繋がった。

（４）大都市圏販売力強化支援事業

[37,174 千円／佐賀県補助金]

【目的】

県内事業者の企画力や商品開発力の向上、バイヤーとのマッチング機会の創出、新たなチャネル開拓及び営業フォローなどの支援を行うことにより、県産加工食品の大都市圏への販路開拓及び販路拡大を図る。

【実績】

- ① 伴走型育成支援事業を実施するとともに、各種セミナーを開催することで県内加工食品メーカー等の販路開拓に向けたスキルアップを図った。
 - 売れるをつくる！リデザイン支援事業
 - EC サイト販路拡大支援事業
 - 各種セミナー
 - ・事業計画策定研修会
 - ・商品力強化セミナー
 - ・展示会出展事前研修会、フォローアップ研修会
- ② 大都市圏での展示商談会において、佐賀県ブースを出展し、商談機会を提供した。
 - Food EXPO Kyushu2025（2025 年 10 月 7 日～8 日）
 - スーパーマーケット・トレードショー2026（2026 年 2 月 18 日～20 日）
- ③ 県産品の PR や定番化に向け、大都市圏の量販店等で佐賀県フェア、九州フェアを実施するとともに、インターネット通販サイトでの県産品の販売を実施。
- ④ 問屋（卸売企業）の機能（営業・商品管理・物流等）を活用した県産品の提案、商談活動を行い、県内事業者の営業活動を支援した。

◇主な経費の内訳：委託費、出展料、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	育成件数	5 社以上	36 社
成果指標	成約件数	1,100 件以上	1,083 件

【評価】

成約件数は目標を下回ったものの、首都圏、九州での展示会出展や大都市圏での佐賀県フェアの実施により、県産加工食品の販路拡大に繋がった。

（５）物産振興支援事業 [5,344 千円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

百貨店、量販店等で開催される物産展等に県内事業者等を斡旋するほか、大手卸等の取引窓口として佐賀県物産品の販路拡大を図る。

【実績】

- ① 百貨店、量販店等で開催される「九州物産展」や「佐賀フェア」などの企画への積極的な提案による県内事業者の斡旋、広告媒体等による佐賀県産品の認知度向上の取組の実施
- ② 大手卸等と直接取引のできない県内食品メーカーを対象とした、取引に際しての窓口として受発注・請求・支払等の業務の実施。また、納品・請求伝票等の作成のシステム化をさらに進め、事務処理の効率化を図った。

◇主な経費の内訳：旅費、通信運搬費、報償費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	物産展等のイベントや自主販売への参加	60 件	52 件
成果指標	新規出展者数	5 社	6 社

【評価】

物産展への参加件数は減少したものの、新規出展者数の拡大に取り組むなど、県産品の販売・斡旋等の取引窓口の機能を有効活用し、県産品の販路が着実に広がった。

（６）県産品 PR・販売促進事業 [92,151 千円／佐賀県補助金・手数料他]

【目的】

九州佐賀国際空港にテナントショップを設置し、県産品の展示・紹介・販売、情報の提供を行うことにより、認知度向上、販売促進につなげるとともに、佐賀県のプレゼンスの向上を図る。

【実績】

新規事業者の商品を幅広く取り扱うことで、県産品の魅力を紹介した。

また、試食販売などの事業者による対面販売の機会を増やし、認知度向上及び販売促進に取り組んだ。

○主なイベント及びフェア実績

sagair 開店 4 周年記念 (4 月)、母の日フェア (5 月)、父の日フェア (6 月)、スイートコーン祭り (6 月)、風鈴特集 (7 月)、お土産好適品 (8 月)、敬老の日フェア (9 月)、焦がし醤油パイお披露目会 (佐賀大学との連携事業) (9 月)、秋の行楽 (10 月)、バルーン・唐津くんち特集 (11 月)、クリスマス好適品 (12 月)、迎春フェア (1 月)、手土産特集 (1 月)、日々の暮らしに寄り添う、佐賀の贈りもの (2 月)、ホワイトデー特集 (3 月)

◇主な経費の内訳：商品仕入、賃料、人件費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	新規取扱い事業者	10 社	17 社
成果指標	売上目標	70,000 千円	74,122 千円

【評価】

県産品の良さや質の高さ、また、その魅力が九州佐賀国際空港を利用する方に伝わり、県産品の販売促進につながった。

(7) 輸出開拓・促進事業

[44,219 千円／佐賀県補助金]

【目的】

県産品輸出可能性等調査事業のフォローアップ等を実施し、県産品の海外への販路拡大の促進を図る。

【実績】

新規市場開拓及び商品の定番化を目指し、主に以下の事業を実施した。

また、中国や香港におけるさらなる輸出拡大、東南アジア等における新規市場開拓及び販路拡大を図るため、現地の情報収集活動や営業活動支援等を行い、県産品の販売促進及び販路拡大に取り組んだ。

① 中国における佐賀県産酒類販路拡大事業

現地商社へ委託し、佐賀県産酒類のプロモーションを実施

(ア) 令和 7 年度中国向け佐賀県産酒類等輸出販路促進拡大事業（上海、成都、武漢を中心）

◇主な経費の内訳：委託費、フェア開催費、旅費 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
成果指標	新規輸出入事業者の発掘及び 伴走型育成支援参加事業者	5 社以上	13 社
成果指標	新規参入（新品目含む）を達成 する県内事業者数	8 社以上	8 社

【評価】

令和7年度は、加工食品を中心とした県内事業者の商品のテストマーケティング実施など、支援する事業者の幅が広がりを見せた。

また、これまで取り組んできた国・エリアでの事業を着実に実施しつつ、メキシコでのプロモーションなど新たな国・エリアでの展開に向けた足掛かりとなった。

7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【他2の個別事業の内容】

（1）協議会と連携した販売促進事業 [6,372千円*／自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進するとともに、協議会事務局の運営を行った。

※上記決算額は当該協議会自体の決算額は含まず、事務局運営に係る人件費等。

① 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

【目的】

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る事業を支援する。

＜構成団体＞

農業団体、関係市町、県、当財団 等 12機関 事務局：当財団、県

【実績】

ア．産地PR・海外バイヤーの招聘

○海外の輸入業者や販売店舗関係者、国内の輸出業者等の招聘

イ．海外販売促進活動

○海外の小売店、飲食店等でのプロモーション

○販促資材の作成

○トラム広告

○見本市等での試食宣伝PR活動

ウ．海外市場開拓調査

エ．輸出人材育成研修

オ．佐賀牛の米国日本国大使館での現地プロモーションなど

【評価】

令和5年度に本格稼働した佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」の輸出認定国・エリアが着実に広がっており、それ以外の国・エリアを含め、佐賀牛ブランドの認知度向上や販路拡大の取組が進んだ。

また、香港において県産青果物のプロモーションを継続的に実施したことで、いちごさんを中心に徐々に香港で浸透・定着してきている。

8 収益に関する事業（収 1）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

【事業の趣旨】

ふるさと納税に関する事業及び農林水産物、加工食品等県産品の販売事業により収益向上を目指す。

【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

- 1 ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

（1）ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

[11,403 千円／売上等収入]

【目的】

県のふるさと納税の返礼品に関わる受発注業務や、事務所等における県産品の販売を通し、収益の向上を目指す。

【実績】

① 佐賀県ふるさと納税お礼の品の管理発送等に関する事業

ふるさと納税制度を利用した寄付者に対し、お礼の品（県産品）の受発注から商品到着までの管理確認及び支払業務等を行うとともに商品開拓、PR業務も行った。

○令和7年度実績：寄付額 55,162,000 円
受取手数料収入 3,033,910 円

② 県産品の販売に関する事業

さが県産品流通デザイン公社の事務所内において県産品の販売を行った。

○令和7年度実績：商品売上等収入 8,002,967 円

◇主な決算の内訳：人件費、商品仕入 等

【指標】

区 分	項 目	目 標	実 績
活動指標	ふるさと納税取扱い事業者を増加	10 社	14 社
成果指標	ふるさと納税額の増加	増加	24,409 千円増

【評価】

ふるさと納税においては、コラボ企画の実施や、事業者数・商品アイテムを増やしたことで、大幅に、寄付額を伸ばすことができた。事務所内においては、商品販売を行うことで、幅広い事業者支援を行った。

第3 庶務事項

(1) 理事会

年月日	内 容		
R7. 4. 1	第1回理事会 (書面)	第1号議案	業務執行理事の選定並びに重要な使用人の選任及び理事に使用人職務を委嘱する件
R7. 6. 4	第2回理事会	第1号議案	令和6年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
		第2号議案	評議員候補者の推薦の件
		第3号議案	評議員会の書面招集の件
		第4号議案	評議員会の招集の件
R7. 7. 31	第3回理事会 (書面)	第1号議案	評議員候補者の推薦の件
		第2号議案	評議員会の招集の件
R7. 10. 8	第4回理事会 (書面)	第1号議案	理事辞任に伴う理事の推薦の件
		第2号議案	評議員会の招集の件
R7. 10. 14	第5回理事会 (書面)	第1号議案	副理事長（業務執行理事）の選定の件
R7. 10. 20	第6回理事会 (書面)	第1号議案	令和7年度事業計画及び収支予算の変更の件
R7. 10. 31	第7回理事会 (書面)	第1号議案	評議員候補者の推薦の件
		第2号議案	評議員会の召集の件
R8. 2. 27	第8回理事会 (書面)	第1号議案	公益目的事業の一部を統合する件
		第2号議案	変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
R8. 3. 3	第9回理事会	第1号議案	令和8年度事業計画及び収支予算の件
		第2号議案	一時借入金最高限度額の件
		第3号議案	役員等賠償責任保険契約の件
		第4号議案	評議員会の招集の件
R8. 3. 19	第10回理事会 (書面)	第1号議案	令和7年度事業計画及び収支予算の変更の件
		第2号議案	理事候補者の推薦の件

(2) 評議員会

年月日	内 容		
R7. 6. 20	第 1 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R7. 6. 24	第 2 回評議員会	第 1 号議案	令和 6 年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
R7. 8. 1	第 3 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員の選任の件
R7. 10. 10	第 4 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	理事辞任に伴う理事選任の件
R7. 11. 1	第 5 回評議員会 (書面)	第 1 号議案	評議員選任の件
R8. 3. 25	第 6 回評議員会	第 1 号議案 第 2 号議案	令和 8 年度事業計画及び収支予算の件 理事選任の件